

# 城下町あいづ道草街道 町並みの魅力に磨きをかける取組が 進められています！



▲「七日町通り」かつては城下の西の玄関口として会津一の繁華街。今はレトロなまち並みが人気の観光地。

福島県会津若松市に位置する「城下町あいづ道草街道」の主なエリアの「七日町通り」はレトロな町並み景観が魅力的な中心商店街で、白虎隊士の墓などがある「いにしえ夢街道」は歴史資源の宝庫となっています。

他にも野口英世青春通り、北大丸通りなど個性あふれるエリアが集まり、それぞれの特徴が重なり合って、奥行きのある魅力を醸し出しています。

「城下町あいづ道草街道」ではゆったりと歩いて、旧会津藩の城下町の風情を楽しむ風景街道を目指しており、通りの景観や町並みの魅力づくりが進められています。



▲「野口英世青春通り」この地で野口英世が青春を謳歌。医学の勉強に励んだ會陽医院跡は、現在の野口英世青春館。





▲「北大丸通り」正面に臨む「鶴ヶ城」。H23年に「赤瓦」に葺き替え、幕末当時の姿を再現。現存する天守閣では国内唯一の赤瓦。

まちの魅力を高めるため、商店街の皆さんにより品物の並べ方の工夫や、観光客が気軽に休めるよう、ベンチを店先に設置するなどの取り組みが進められています。

まち並みやお店を楽しんで、歩き疲れたらひと休み。まちの魅力をゆったりと味わうことができます。



▲七日町浪漫デッキ駐車場の休憩スペース



▲JR 七日町駅舎内にある「七日町駅 café」



▲歩き疲れたら休憩スペースやベンチでひと休み





▲「いにしえ夢街道」飯盛山は城下町を一望に見渡す小高い山。白虎隊士のお墓をはじめ白虎隊ゆかりの史跡が数多い。

令和3年12月、東北風景街道協議会の委員による現地視察と意見交換会が開催され、委員およびパートナーシップの活動団体や道路管理者など参加者全員で、いにしえ夢街道や七日町通りなどを巡りました。

「人を誘っている」「人を大事にしている」ことがメッセージとして伝わる丁寧な形づくりと、その大切さについて考える良い機会となりました。

また、委員からは、会津若松は京都、金沢に次ぐ日本有数の観光地となるポテンシャルを秘めている、と嬉しいお言葉を頂きました。

「城下町あいづ道草街道」がある会津若松では、ここを拠点として、喜多方、磐梯、奥会津など様々なところへ向かう長期滞在の観光客が多くみられます。

会津若松から西に広がる奥会津では、2011年7月の新潟・福島豪雨の影響により不通となっていたJR只見線の再開通にあわせ、沿線町村を結ぶ旧沼田街道を風景街道の新ルートにしようという動きがあります。奥会津には深い自然があり、その自然景観は全国有数の人気スポットとなっています。

城下町の魅力たっぷりの「城下町あいづ道草街道」と全国有数の秘境「奥会津」の新ルート。趣の異なる2つのルートの連携により、奥行きのある観光や地域づくりの展開が期待されます。



▲パートナーシップが設置した案内看板。現地視察では、歩行者が信号待ちをしながら、至近距離で丁度良く読むことができると評価された。



▲協議会委員による商品展示のアドバイス